

ネイチャーセンターだより



2・3月のみどころ

【2月】

上旬、風蓮湖の氷が1年で最も厚くなります。場所によっては御神渡りが見られることがあります。この時期、風蓮湖で見られるオオワシ、オジロワシの数がピークになります。周辺地域でケアシノスリやコミミズクなど冬の猛禽類に出会えることもあります。春国岱第一砂丘の草原には、ハギマシコやツメナガホオジロなどの小鳥が越冬にきて、ハマニンニクなどの草の種をついばんでいます。



氷上のワシたち

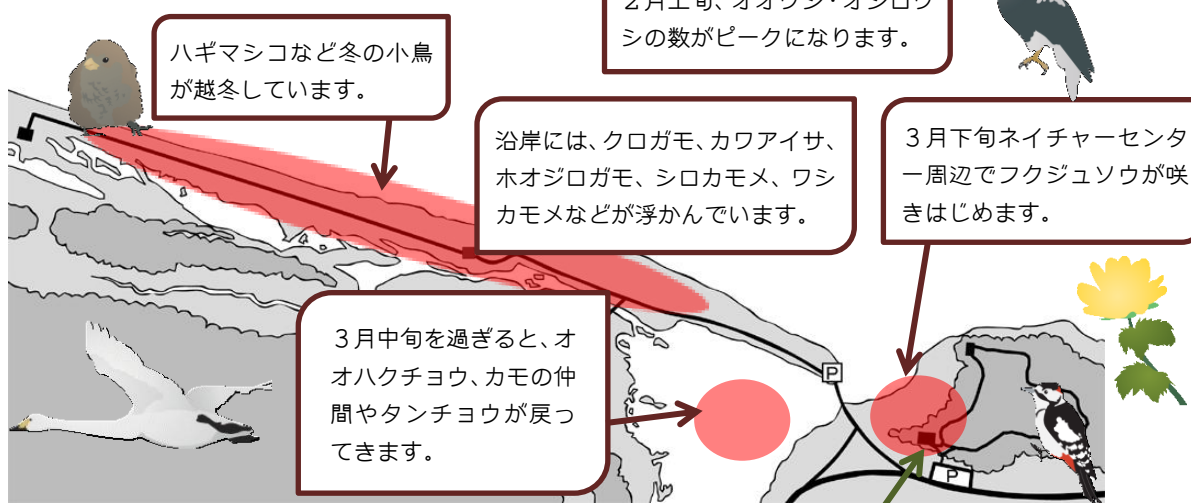
【3月】

冬鳥たちが繁殖地へと渡りはじめます。渡りの時期は移動中の珍しい鳥と出会うチャンスです。湖の氷が溶け始めると、本州などに渡っていたオオハクチョウやオナガガモヒドリガモ、ヨシガモなど淡水ガモの仲間が風蓮湖に戻ってきます。オオワシの数は減りますが、まだ見ることができます。また、下旬には釧路方面に行っていたタンチョウが繁殖のため風蓮湖・春国岱に戻ってきます。



タンチョウ

おすすめスポット



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(無料)

春国岱のガイドマップの配布や双眼鏡の無料貸し出し、スライドの上映などを行っています。また、レンジャーが生き物に関する質問などに随時お答えしています。気軽にお声かけください。

トピックス

雪の世界でかくれんぼ

冬になると雪と氷の世界に似合う白い鳥が春国岱に舞い降ります。根室市全域をみると、スズメ位の小さなものからカラス位の大きなものまで様々な白い鳥が渡ってきます。



種をついばむユキホオジロ

可愛らしくて人気者なのは、ユキホオジロです。白地で背などに茶色の模様が入るスズメより少し大きな小鳥で、丸みを帯びた体から思わず雪見大福を連想してしまいます。彼らは雪の積もった草原に枯れたハマニンニクなどの種を食べに、多い時には30羽ほどの群れでやってきます。飛んでくれると見つけやすいのですが、地面にいると体の色が周りに溶け込んでしまうためなかなか見つけられません。ユキホオジロの白い羽は繁殖地のツンドラ地帯や越冬地の北海道など雪の多い地域で目立ちにくいという効果もあるのですが、それだけではなく白い羽は中空で中が空気で満たされているため断熱材の役割も果たしているそうです。小さな鳥ですが寒い地域で暮らす様々な工夫をしています。

他にも、港や沿岸でよく見られるコオリガモ、ほぼ毎年ほんの数羽が飛来するシロハヤブサ、めったに見られないシロフクロウなどの白い鳥が根室で確認されています。これらの鳥は、雪原や氷が浮かぶ海など彼らが暮らす環境に見事に溶け込みます。そんな鳥たちの配色を見ると自然のたくみさに感服させられます。

春国岱クイズ

冬の草原にハギマシコというお腹が薄紅色をした小鳥がやってきます。地面で何かをついばんでいる姿をよく見かけますが、主に何を食べているのでしょうか？

(A、Bの中から答えを選んでください。)

ヒント：太いクチバシでパリパリ割って食べます。



ハギマシコ

- A. 虫
B. 草の種

答えは次号に掲載します。(先月号の答え…B)

いきもの図鑑



英名 *Calcarius lapponicus* 学名 *Lapland Longspur*

ツメナガホオジロ

(ツメナガホオジロ科)

スズメよりも一回りほど大きな鳥で、冬になると春国岱第一砂丘の草原に来ることがあります。草原には、ハマニンニクなどイネ科の草の種などを食べにやってきます。日本には少数しか渡ってこず、見られる場所も限られている、珍しい鳥です。足の後ろ指の爪が長いことが名前由来です。

レポート

春国岱で出会ったたくさんの生き物

1月19日に春国岱の自然情報収集調査を行いました。春国岱の木道に入ってすぐのところで、さっそくハギマシコと出会いました。草むらと木道を行ったり来たりしながら地面に落ちた植物の種を小さいクチバシで拾っていました。

春国岱北側の海では、ホオジロガモ、クロガモ、カワアイサなどの海ガモ類がエサを獲るため何度も潜水と浮上を繰り返していました。その周りには沿岸氷が浮いていて見るからに寒そうでしたが、カモたちは平気な様子でした。

第二砂丘では、片方の角が折れてしまったシカと出会いました。他のオスとの縄張り争いなどが原因で折れてしまったのでしょうか。でも、すぐ近くにちゃんとメス鹿も一緒にいたので、なんとか連れ合いを確保することができたようです。

第三砂丘の森の中では、ゴジウカラの群れに出会いました。餌探しの時間だったのか大勢で忙しそうに動きまわっていました。その他にも、氷上のオジロワシ、雪上のネズミと思われる足跡など、様々な動物たちと出会うことができました。

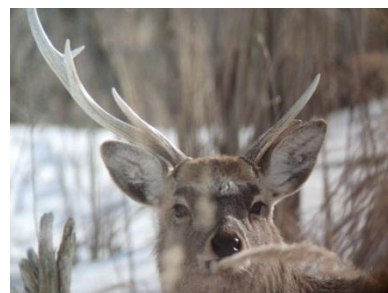


写真 角の折れたエゾシカ

レンジャー日記

オジロワシのハンティング

12月末から1月中頃まで冷え込みが厳しい日が続き、春国岱周辺の海もかなり氷に閉ざされてしまいました。氷の間に海面が現れるとカワアイサやホオジロガモ、オオセグロカモメ、シロカモメ、ワシカモメなどがやってきます。

時々こうした鳥たちを狙ってオジロワシがやってきます。先日も海面に浮かんだカモを何度も急降下をしたり、上空で停空飛行をしたり、数羽で波状攻撃を仕掛けたりして捕まえようとしている姿が見られました。この日はカモ側に軍配が上がり、オジロワシはあきらめて飛び去っていきました。

【記：レンジャー 手嶋】



NEWS

ワシの季節がやってきました！

風蓮湖が結氷し、1月上旬から湖のあちらこちらで氷下待ち網漁が始まりました。あわせて漁のおこぼれを目当てに集まるオオワシ、オジロワシが氷上でたくさん見られるようになってきました。1月28日のワシ類飛来数調査では風蓮湖全体で486羽のワシを確認することができました。例年2月上旬頃に渡来のピークが来ているので、これからさらに増えると考えられます。



オオワシと氷下待ち網漁

行事などのお知らせ

観覧会などへの参加申込み、お問い合わせは…

春国岱ネイチャーセンターへ、電話（0153-25-3047）もしくは直接お願いいたします。

開催日	内 容	参加費	申込方法など
12月22日(土)～ 2月17日(日) 9:00～16:30	クラフトコーナー 貝殻や木、木の実などをくつつけたり、色をぬったりして自由に工作することができます。	無料	事前申込不要 ※開館時間中はいつでもご参加いただけます。
2月16日(土)～ 2月17日(日) 8:00～17:00	ねむろバードランドフェスティバル ①オオワシ探鳥会 ②海・森の野鳥観察バスツアー Aコース・Bコース ③歯舞パノラマクルーズ ④落石ネイチャークルーズ ⑤ねむろバードソン ⑥イラストなどの展示 など様々なイベントを開催します。 ※2月16日16:30から道の駅スワン44にて猛禽類医学研究所 齊藤啓輔氏(獣医師)の講演会も開催	1000円 ～ 7000円	主催：根室市観光協会 TEL 0153-24-3104 お申込方法、各プログラムの内容、時間、料金など詳細は上記観光協会にお問い合わせいただくか、下記ホームページをご覧ください。 http://www.nemuro-kankou.com/events/birdfes.html
3月10日 13:30～15:30	フィールド講座② タンチョウの素顔～根室は釧路・阿寒に負けず劣らぬツルの街(仮題)～ 根室のタンチョウの魅力をニムオロ自然教室の高田令予氏が解説します。	無料	3月5日(火)までに春国岱ネイチャーセンターにお申込みください。 集合：春国岱ネイチャーセンター 対象：一般 定員：20名(先着順)

ボランティア マナーを守って…

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアグループと個人参加のフィールドボランティアが活動をしています。レンジャーと一緒に自然を調べたり、観覧会を開催したり、自主イベントを企画・実施したりなど様々な活動を行っています。いつからでも、経験がなくてもはじまります。気軽にお問合せください。

- ◆対象：高校生以上
- ◆会費・保険料(年間)：
フィールドボランティア 300円
ボランティアグループスンク 1500円

美しい自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター
(入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地
TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570
Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp
URL. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

- ◆2月の休館日：6, 12, 13, 20, 27日
3月の休館日：6, 13, 21, 22, 27日
- ◆2・3月の開館時間：9:00～16:30
- ◆団体でご利用の方へ
自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。(要 事前申込)